科学研究费助成事業 ((学術研究助成基金助成金)	宝施状识報告書	(研究宝施状況報告書)	(平成28年度)
11丁川ル貝別ルヂ末(、一川川儿叫从全亚叫从亚,	/ 大ル1ハル+1X ロ 目		(干)なる (干)及り

1. 機 関 番 号	1 4 6 0 3	2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学							
3. 研究種目名	若手研究(B)	4. 補助事業期間 平成27年度~平成30年度							
5. 課題番号	1 5 K 1 6 0 2 7								
6. 研究課題名	画像解析に基づく表面下散乱の数理モラ	画像解析に基づく表面下散乱の数理モデル化に関する研究							

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所属部局名	職 名
	クボ ヒロユキ	情報科学研究科	助教
9 0 6 1 3 9 5 1	久保 尋之		

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

9. 研究実績の概要

(1) 表面下散乱	(2) 曲率に依存する反射関数	₍₃₎ インバースレンダリング	(4) 画像解析
(5) コンピュータビジョン	(6) コンピュータグラフィクス	(7)	(8)
現在までの進捗状況			
区分)(2)おおむね順調に	 進展している。		
理由) 7成28年度は,形状が既知の任意・タビジョンやコンピュータグラン・1034型の形状での解析を行うは 誤差が大きくなることも確認さ	意の幾何形状の半透明物体を扱うこ ラフィクス分野でベンチマーク的にった.このとき,素材の形状や特性 されているため,数理モデルをより	とを予定しており,これまでに達別使用されるStanford Bunnyの形状がによっては,これまでに開発した特殊といると考え、 発展させることが必要であると考え	成した球体だけでなく, コンピ や,データセットが広く公開さ 勿体の曲率に基づく解析法だけ えられる.
今後の研究の推進方策 等 今後の推進方策) 「成29年度以降は,推定精度や		になると考えられ,数理モデルを。	
る。CG分野で最近発表されたに初期検討に取りかかっている	た,表面下散乱現象の新たな数理モ る.これを用いて,これまでの数理	テルであるDirectional Dipole +: モデルとハイブリッドで使用してi	rルの導入かその一案であり, 1くことなどを予定している.
 次年度使用額が生じた理由 理由)			
	ため,差額分を次年度に繰り越す 欠年度の予算執行計画に大きな変更		

(課題番号: 15K16027)

10. キーワード

13.研究発表(平成28年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計(1)件/うち査読付論文 計(1)件/うち国際共著 計(0)件/うちオープンアクセス 計(1)件

著 者 名			論	文 標 題	Į	
Takafumi Iwaguchi, Takuya Funatomi, Hiroyuki Kubo, Yasuhiro Mukaigawa	Light P	ath Alignmer	nt for Computed Tom	ography of Scat	tering Material	
雑 誌 名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Trans. on Computer Vision and Applications		有	8:2	2 0 1 1 6	-	-
掲載論文のDOI	(デジク	タルオブジェ	ェクト識別子)			
10.1186/s41074-016-0003-2						
	オープ	ンアクセス				
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

【学会発表】 計(5)件/うち招待講演 計(0)件/うち	5国際学会 計(1)件	ŧ				
発 表 者 名		発	表	標	題	
伏下晋,久保尋之,舩冨卓哉,向川康博	光学特性の異なる液体の	混合による半透	秀明物体	の散乱	特性再現	
学 会 等 名	発表年月日			発	表場	所
映像表現・芸術科学フォーラム2017	2017年03月14日	東京都文京区	₹ , おえ	茶の水	女子大学	

発 表 者 名		!	発	表	標	題			
X. Zeng, T. Iwaguchi, H. Kubo, T. Funatomi, Y. Mukaigawa	Evaluating Inverse Rea	ndering o	of Sub	surface	Scatt	ering	using	Translucent	Spherical
学 会 等 名	発表年月日				発	表:	場所	ŕ	
情報処理学会CGVI研究会	2017年03月13日	東京都	千代日	田区,株	:式会	社GYA()		

70 ± + 47			<i>₹</i> ±	+# 85	
発表者名	少法 中 物 / t	ᄼᄥᆁᄹᄴᄙ	発表 表现 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	標題	
伏下晋 , 久保尋之,舩冨卓哉,向川康博	干透明初体	少权 乱 符 生	専現を目的とした液体の の	J混合 CD 学 推定	
W A 77 77	7%.±		<u> </u>	7% ± 18	rr.
学会等名		年月日		発表場	
画像関連学会連合会 第 3 回秋季合同大会	2016年11月 2016年11月	917日~ 9 18日	京都府京都市,京	郎	
7% ± 2/ 47	1			+m 85	
発 表 者 名 M. Okamoto, H. Kubo, Y. Mukaigawa, T. Ozawa, K. Mochida, S. Morishima	Acquiring (Curvature-Do	発 表 ependent Reflectance	標 題 Function from 1	ranslucent Material
<u> </u>	₹ = 1		•	Z\$ = 18	ככ
学会等名 NICOGRAPH International 2016(国際学会)	2016年07月	年月日	China, Hangzhou	発表 場	РТ
The control of the co	2016年07月		oma, naigenou		
発 表 者 名	1		 発 表	標 題	
Takafumi Iwaguchi, Takuya Funatomi, Hiroyuki Kubo, Yasuhiro Mukaigawa	Light Path	Alignment	for Computed Tomogra	phy of Scatterin	ng Material
学 会 等 名	発表:	年月日		発 表 場	
第19回画像の認識・理解シンポジウム	2016年08月 2016年08月	∃01日~ ∃04日	静岡県浜松市,ア <i>・</i>	クトシティ浜松	
〔図書〕 計(0)件					
著者名				出 版 社	
事 42			-	※存在 【	412 A° ≥ 7 ¥4+
書名				発行年 	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

[出願] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

[取得] 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	Ī
]

15.科研費を使用して開催した国際研究集会

[国際研究集会] 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所		

- 16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況
- (1)国際共同研究:-

17.備考

是案する数理モデルを用いてCGでリアルタイムに可視化するデモプログラム	
ttp://omilab.naist.jp/~hkubo/demo/cdrf/app/bunny_mcdrf.html	